

作者プロフィール

柚木 文夫氏

千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

影 鳥 海



8月半ば、鳥海山（2236m）に登った。鳥海山は、秋田・山形県境に位置する東北地方の最高峰であり、その秀麗な山容は、出羽富士とも秋田富士とも呼ばれ親しまれている。日本海に山の全影が映る「影鳥海」の奇観は、他に類を見ない。

朝8時、ブルーラインの鉾立から登山を開始する。石畳の登山路は立派に整備され過ぎていささか無粋である。ここにも年金基金投入の無駄遣い。途中の賽ノ河原は、ニッコウキスゲ、チングルマ、ミヤマキンバイなどの咲き乱れる日本庭園風の草原である。居心地良く、一服がつのんびり長居。

気を取り直してチシマザサの斜面を登り10時、御浜小屋に着く。ニッコウキスゲの黄色と神秘的な青色の鳥ノ海のコントラストが目には鮮やかである。



次いで扇子森、御田ガ原と花を愛でながらの快適な散歩の後、七五三掛からは一転して、文殊岳、伏拝岳、行者岳と厳しい岩稜登降の連続となる。午後1時、ようやく外輪山最高峰の七高山にたどり着いた。ここから望む新山の溶岩の峰はなかなかの迫力であ



る。

今夜の宿の大物忌神社参籠所は、火口壁の急坂を下りた火口の中にある。

宿に荷物を置いた後、新山に登った。鳥海山の最高点である。参籠所の裏から大きな岩石の堆積をよじ登り、



岩間の切り通しを抜けると、約30分で狭い頂上に達する。ここからの360度の眺望は素晴らしい。北に早池峰山、八甲田山、南に月山、朝日、飯豊、蔵王の山々が遠望

された。

翌未明、ご来光を拝みに再度頂上に登った。4時50分、早池峰山の右肩に曙光が燃えた。荘厳な日の出。と、振り返ると、はるか日本海にくっきりと鳥海山の全影が映し出ている。影鳥海

である。一斉に歓声が上がった。感激に涙ぐむ人さえいた。

影鳥海に出会えた幸運に、すっかり満足した鳥海山登山であった。

